

伊吹山登山ルート

5-04



伊吹山は日本百名山の一座であり滋賀県の最高峰。古くはヤマトタケルの神話にも登場します。山頂部を中心に山野草の群落が広がり、色とりどりの花々が咲き誇ります。歴史と花をめぐる魅力的な登山ルートです。

START

1 伊吹山登山口

登山口付近で多数の民家が駐車場を営んでおりマイカーでもアクセスしやすい。入山協力金 300円。



↓ 20分 ↑ 10分

2 一合目 伊吹高原荘

伊吹高原に位置し、びわ湖を一望できる山中の宿泊施設。登山はもちろん、スポーツ合宿や散策など幅広く利用できます。☎0749-58-0170



↓ 35分 ↑ 20分

3 二合目 ロッジ山

伊吹山二合目にある緑に囲まれたロッジ。広大なびわ湖と湖北の田園風景が楽しめます。☎090-8930-9254



↓ 50分 ↑ 30分

4 三合目

かつては登山口から三合目までのゴンドラがありましたが、現在は遺構のみ。ここで関西初のスキー場を開いた中山再次郎の銅像が建っています。これより上は日陰がないので熱中症に注意。
※トイレは冬期閉鎖



↓ 1時間5分 ↑ 40分

5 六合目 避難小屋

六合目にある石造りの避難小屋。床は板張りなので土足厳禁。年間を通じて開放されています。



↓ 1時間10分 ↑ 50分

6 伊吹山頂上

土産物屋や食事処が立ち並んだ賑やかな山頂。山頂周辺の植物群落は天然記念物に指定されており、夏には色とりどりの花が咲くお花畑が広がります。
※トイレは冬期閉鎖



日本百名山 お花畑 眺望



伊吹山へのアクセス

公共交通

JR東海道本線近江長岡駅からバス16分で伊吹登山口下車。

自動車

観光案内所のほか、登山口付近に民間有料駐車場(500~1000円)が多数。

アドバイス

一合目より上の登山道には日影がないので、夏場は熱中症対策が必要。山頂のお花畑の最盛期は7月下旬から8月上旬。シーズン中は山頂駐車場からバスで下山もできます。

ペンションいぶき

伊吹山登山口にあるペンション。オーナー手作りのログハウスで葉草風呂が楽しめます。デザートのお土産の盛り合わせも人気。☎0749-58-1323



ナイトハイク

伊吹山では、暑い夏場を中心にナイトハイクが盛んです。夜に月光を見て夜道を眺め、山頂で二束光を見たあと早朝の涼しい時間帯に下山。暗闇のなかで五感を活用しながら行う登山は非日常の体験です。



ケカチの水

伊吹山で修行する行者が、過去の罪を悔い改める「悔過の業(けかのぎょう)」を行ったが、この地にあったことが名前の由来。ヤマトタケルノミコが熱を冷ました「命の水」だという伝承も残っています。



入山協力金

平成27年から入山時に登山協力金300円を任意で徴収しています。伊吹山には約1300種の多種多様な植物が群生し、固有の山野草や、カモシカ、イヌワシなど希少な動物が生息します。協力金はこれらの保護や登山道の整備などに充てられています。



山頂からの展望

好天であれば、眼下に360度の大自然が広がり、西はびわ湖や比良の山々、東は日本アルプスや伊勢湾まで見渡せます。



伊吹山頂草原植物群落 (天然記念物)

伊吹山 (1377m)

FINISH

伊吹山登山ルート 5-04

6 伊吹山頂上

ヤマトタケル

山頂にはヤマトタケルの像が祀られています。「古事記」によれば、伊吹山で神の化身である白猪と戦って敗北し、麓に湧く玉倉部の清水で傷を少し癒したものの、大和に戻る途中で力尽きたそうです。



お花畑

伊吹は麓から山頂まで、約1300種の植物が分布する植物の宝庫です。地質的に見ても、古生代二疊紀という古い石灰岩層からできており、ルリトラノオ、イブキコメクサ、コイブキアザミなどの固有種が多く生息します。固有種でなくても、ここで最初に見つかったなどの理由で「イブキ」と名のついた植物は、古い呼び名も含めて実に30種以上にのぼります。



「イブキ」と名のつく植物たち

